

使用上の注意

- ・ご使用前に「取扱説明書」をよく読んで正しくお使いください。使用取扱を誤りますと、故障の原因になります。
- ・気温・室温が0℃以下になる場合は、凍結予防を行ってください。配管や水栓が凍結破損し、漏水のため家財に損害を与えるおそれがあります。凍結予防方法例は次のいずれかで行ってください。
 - 例①暖房などにより室温が0℃以下にならないようにしてください。
 - 例②水栓から水を少量流し放しにしてください。
 - 例③配管・水栓内の水を抜いてください。
- ・配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓(給水・給湯管含む)には絶対に通電しないでください。水栓内部の樹脂部分が破損します。通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ・サーモスタート式の水栓金具の場合、給湯器の給湯温度は50℃～60℃に設定することをおすすめします。やけど防止のため、60℃を超えない設定にしてください。
- ・水栓は住宅用です。用途以外ではご使用にならないでください。尚、業務用でご使用になると器具の寿命が短くなります。
- ・やけど防止のために、使用時の吐水初めには必ず温度を確認の上ご使用ください。
- ・高温給湯時、水栓本体の表面が熱くなるものがありますので、水栓本体の表面には触れないでください。
- ・水栓への給湯温度設定は85℃より高温で使用しないでください。水栓が破損し、漏水のために家財に損害を与えるおそれがあります。
- ・誤操作などによる、やけど防止、水栓の破損防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- ・シャワーには熱湯(60℃より高温)を通さないでください。シャワーヘッドが破損し、けがややけどをするおそれがあります。安全のためシャワーは45℃以下のご使用をおすすめします。
- ・逆流防止のため、シャワーヘッドを浴槽内に入れたまま放置しないでください。
- ・止水機能付の浄水器は吐水口(カラン、スパウト)部からの漏水のおそれがあるため、ご使用できません。
- ・止水した時、シャワーヘッドから水滴が落ちることがありますが、これはシャワーヘッド内部の残留水が排出されるためで、故障ではありません。
- ・樹脂部品(樹脂製レバー・ハンドル・シャワーヘッド等)には酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤は使用しないでください。台所用中性洗剤をご使用ください。樹脂部品が破損するおそれがあります。消臭剤や有機溶剤を含んだ化粧品、合成洗剤などが付着すると破損することがあります。付着しないようにご注意ください。付着した場合、すぐに水洗いしてください。
- ・めっきのシャワーヘッドは、ぶついたり落したりしないでください。めっき表面が割れてけがをする場合があります。
- ・めっきのシャワーヘッドは、公衆浴場・レジャー施設など不特定多数の方が頻繁に利用する場所では使用しないでください。めっき表面が割れてけがをする場合があります。
- ・洗濯機用水栓以外は全自動洗濯機にセットしないでください。

メンテナンスについて

- ・配管まわり(キャビネット内)の水漏れがないか1カ月に1回程度確認してください。部品の劣化・磨耗などによって生じる漏水で、家財などを濡らす財産損害発生を未然に防止するために、配管まわりの点検を行ってください。
- ・製造中止後の補修部品(商品の性能維持に不可欠な部品で、使用期間中に取替の必要が発生する可能性の大きいもの：パッキンなど)の供給期間は10年です。
- ・こま・パッキン等は消耗品です。定期的な交換をお願いいたします。
- ・商品の機能や性能を保つために、清掃や消耗部品交換など日ごろから適切な維持管理を行ってください。
- ・保証期間は保証書に記載している期間になります。保証書は大事に保管してください。保証書が添付されていない商品の保証期間は、支社、営業所にお尋ねください。
- ・保証期間内でも有料修理となる場合があります。(詳しくは商品に同梱されている保証書の内容をご確認ください。)
- ・摩耗劣化部品は5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早めの点検・交換をおすすめします。なお、コマパッキンなどは消耗品ですので、消耗の都度交換ください。(交換時期は、使用環境などによって異なります。)
- ①消耗部品：使われてなくなっていく部品です。
 - 例：浄水器カートリッジ・コマパッキンなど。
- ②摩耗劣化部品：摺動部品や、摩耗及び劣化しやすい部品のことです。
 - 例：開閉ユニット・切替、温調ユニット・逆止弁・カートリッジ・シャワーヘッド・シャワーホース・吐水口など。 ※水栓の種類によって異なります。

定期的な点検・部品交換 ※水栓の種類や使用環境によって異なります。

